

出来形総括表作成方法

7

【令和6年4月1日公開】

青森県財務部 工事検査課

【目次】

作成方法	P 1
記入例	P 2

【作成方法】

出来形総括表には、工事数量総括表(設計図書)、出来形管理内訳表(施工計画書中の出来形管理測定項目内容を充実させ、工事内容と測定項目を合体した出来形管理内訳表の作成)、数量集計表(参考資料)を基に次の点に留意し記載すること。

1. 一行目には、施工延長等(施工延長、施工数量、施工面積、施工橋長、施工堤長)を記載すること。ただし、検査時は斜距離を実測することから設計図書に示した施工延長が水平距離である場合には二段書きとし、上段に水平距離を、下段に括弧書きで斜距離を記載する。なお詳細として、別途内訳表を添付すること。内訳表は各No. 間毎とし集計をする。
2. 各工種(レベル2)において、工種(レベル2)、種別(レベル3)、細別(レベル4)を施工管理基準が定められているもの(出来形管理内訳表より)まで、可能な限り一行で記載すること。
3. 各工種(レベル2)において、工種(レベル2)、種別(レベル3)、細別(レベル4)のいずれも施工管理基準が定められていない(出来形管理内訳表より)場合は、工種(レベル2)のみを1式で記載すること。ただし、構造物撤去工等で処分費がある場合は、t数を記載する。また、共通仮設中に処分費がある場合もt数を記載する。(木根等処分費)
4. 土工については、工種(レベル2)のみを1式と記載すること。
5. 種別(レベル3)、細別(レベル4)に施工管理基準が定められていないもの(出来形管理内訳表より)は記載しない。(例:作業土工、測量設計費等)
6. 甲乙協議の上基準を定めたものは、施工管理基準が定められているものと同様とする。
7. 規格(レベル5)は、記載しない。
8. 設計値欄には、1式及び1基、1本、1枚等個数の場合は、整数止めとする。それ以外は図面等の値または計算により算出した数量を小数第2位まで記入する。

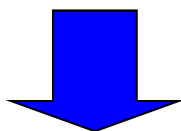
【記入例】

【本工事費工事数量総括表】

工 種	数 量	単 位
道路改良 レベル1	2. 各工種(レベル2)において、工種(レベル2)、種別(レベル3)、細別(レベル4)を施工管理基準が定められているもの(出来形管理内訳表より)まで、可能な限り一行で記載すること。	
排水構造物工 レベル2 側溝工 プレキャストU型側溝	1	式
作業土工 レベル3 側溝工	1	式
側溝工 レベル4 プレキャストU型側溝 レベル5 落蓋式, 車道用, 300×300	1	式
側溝蓋 車道用Co蓋, 車道用Gr蓋	111	Ⅲ
	211	枚

5. 種別(レベル3)、細別(レベル4)に施工管理基準が定められていないもの(出来形管理内訳表より)は記載しない。
(例: 作業土工、測量設計費等)

7. 出来形総括表には規格(レベル5)は、記載しない。



【出来形総括表】

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	設 計	測 値	検 査 値	摘 要
レベル1	レベル2 排水構造物工	レベル3 側溝工	レベル4 プレキャストU型側溝	m	110.60	110.65		
			側溝蓋	枚	211	211		6. 甲乙協議の上基準を定めたものは、施工管理基準が定められているものと同様とする。

2. 各工種(レベル2)において、工種(レベル2)、種別(レベル3)、細別(レベル4)を施工管理基準が定められているもの(出来形管理内訳表より)まで、可能な限り一行で記載すること。

8. 設計値欄には、図面等の値または計算により算出した値を小数第2位(小数第3位切り捨て)まで記入する。

8. 設計値欄には、1式及び1式及び1基、1本、1枚等個数の場合は整数止めとする。

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1 道路改良	レベル2	レベル3	レベル4 施工延長	m	63.20 (63.24)	63.24		1. 一行目には、施工延長等(施工延長、施工数量、施工面積、施工橋長、施工堤長)を記載すること。

施工数量
施工面積
施工橋長
施工堤長

1. 上段に水平距離 下段に斜距離。

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 道路土工	レベル3	レベル4	式	1	1		4. 土工については、工種(レベル2)のみを1式と記載すること。

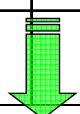
工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 法面工	レベル3 植生工	レベル4 種子散布	m2	122.56	122.56		

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 仮設工(任意の場合)	レベル3	レベル4	式	1	1		3. 各工種(レベル2)において、工種(レベル2)、種別(レベル3)、細別(レベル4)のいずれも施工管理基準が定められていない(出来形管理内訳表より)場合は、工種(レベル2)のみを1式で記載すること。ただし、構造物撤去工等で処分費がある場合は、t数を記載する。

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 構造物撤去工	レベル3	レベル4	t 式	262.65 1	265.83 1		

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1 共通仮設	レベル2 共通仮設費	レベル3 準備費	レベル4 木根等処分費	t 式	125.27 1	127.35 1		3. 共通仮設中に処分費がある場合もt数を記載する。(木根等処分費)

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 石・ブロック積(張)工	レベル3 作業土工	レベル4	式				5. 種別(レベル3)、細別(レベル4)に施工管理基準が定められていないもの(出来形管理内訳表より)は記載しない。(例: 作業土工、測量設計費等)
		コンクリートブロック工	コンクリートブロック基礎 B=0.89,H=2.41	m		47.10		
			コンクリートブロック積 300×360× 350,37.8kg/個	m2		148.56		出来形管理基準は個々の項目ではなく、コンクリートブロック工全体としての基準である。
			天端コンクリート B=0.54	m3		1.33		
			小口止コンクリート B=0.894,H=2.41	m3		2.09		



工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
レベル1	レベル2 石・ブロック積(張)工	レベル3 コンクリートブロック工	レベル4	m2	148.56			8. 設計値欄には、1式及び1式及び1基、1本、1枚等個数の場合は、整数止めとする。これ以外は図面等の値または計算により算出した値を小数小数第2位(小数第3位切り捨て)まで記入する。

【記載例】

令和〇〇年度

(〇/〇)

工事番号第〇〇号

工事名 国道〇〇〇号道路改良工事

出来形総括表

受注者 ○ ○

現場代理人 ○ ○ ○ ○

測定者 ○ ○ ○ ○

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
道路改良			施工延長	m	63.20 (63.24)	63.24		※摘要欄のサイズは 縦: 1.5cm程度 横: 4.5cm程度
	道路土工			式	1	1		
	法面工	植生工	種子散布	m2	122.56	124.60		
	擁壁工	場所打擁壁工		m	70.00	70.10		
	石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック工		m2	48.10	48.12		
	排水構造物工	側溝工	プレキャストU型側溝	m	110.60	110.65		
			側溝蓋	枚	211	211		
	構造物撤去工	コンクリート取り壊し		式	1	1		
		運搬処分費		t	262.65	265.83		
	舗装工	アスファルト舗装工	下層路盤	m2	398.16	398.16		
			上層路盤	m2	398.16	398.16		
			表層	m2	398.16	398.16		
			表層	m2	398.16	398.16		
	縁石工	縁石工	歩車道境界ブロック	m	23.30	23.34		
			アスカーブ	m	34.60	34.63		

令和〇〇年度

(〇/〇)

工事番号第〇〇号

工事名 国道〇〇〇号道路改良工事

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
	防護柵工	路側防護柵工	ガードレール	m	34.10	34.12		
		防止柵工	転落(横断)防止柵	m	5.50	5.53		
	区画線工	区画線工	ペイント式区画線	m	121.50	121.50		
	※最終行には、一行以上の空欄を設けること							

※総括表の下に、一行空欄を設けること

上記のとおり検査確認いたしました。

令和 年 月 日

検査者所属

職氏名